

報道関係者各位

2026年5月21日
株式会社WHI Holdings

WHI HD、業界に先駆け新たなAIエージェントを提供開始 自社人事制度を踏まえた対策の提案と高解像度なデータ解析で 人的資本経営を加速



株式会社WHI Holdings（本社：東京都港区、代表取締役最高経営責任者（CEO）：安齋富太郎、以下WHI HD）は、自社固有の人事制度や組織特性などの情報を踏まえ、人事データの分析から改善施策の提示までを一貫して担うAIエージェントを、「COMPANY® Talent Management」シリーズ（以下CTM2.0）に搭載いたしました。

汎用的なAIが一般的な示唆にとどまりやすいのに対し、本機能では、評価制度資料や等級定義書といった自社固有の情報を読み込んだ「カスタムAIエージェント」が、データ分析や改善策の提案機能と連携し、企業ごとの制度や運用実態に基づき、人事データの分析結果を具体的なアクションへと導きます。

まずはその実装の第一歩として、CTM2.0の「モチベーションサーベイ」製品に搭載し、提供を開始いたします。今後は評価や配置、要員計画など、人事領域全体への展開を予定しています。

●自社制度を読み込んだAIエージェントの必要性

2026年3月に内閣官房より公表された「人的資本可視化指針（改訂版）」※では、指標の開示にとどまらず、その意味を自社の状況に即して解釈し、具体的な施策へとつなげる「ストーリー」の重要性が示されています。そのため、今後は人事データを可視化するだけでなく、自社にとっての課題を正しく捉え具体的なアクションへとつなげることが求められます。

一方で、従来の人事データ活用は集計・分析結果をレポートとして共有するにとどまり、改善施策の検討や現場への展開までつながらないケースも少なくありません。また、AIを活用した分析も広がりつつありま

すが、汎用的なAIでは企業固有の制度や文化を十分に反映できず、実務に即した施策につながりにくいという課題があります。

こうした背景を踏まえ、WHI HDは、評価制度資料や等級定義書など、自社固有の人事制度・組織特性を読み込む「カスタムAIエージェント」を開発しました。

※内閣官房「人的資本可視化指針」の改訂について <https://www.cas.go.jp/jp/houdou/20260323.html>

●モチベーションサーベイ「カスタムAIエージェント」機能の特長

1. 自社固有の情報を踏まえた高解像度な分析と実行可能な改善施策の提示

自社固有の人事制度や組織特性を読み込んだAIエージェントが、サーベイの自由記述回答やエンゲージメントスコアをもとに、課題の抽出から改善施策の提示までを一貫して行います。従来の汎用的なAI分析では、「30代社員のモチベーションが低下している」といった、年齢などの一般的な属性に基づく傾向把握にとどまり、どの層に対してどのような対応が必要かまでは把握しづらいケースが多く見られました。これに対し本機能では、各企業の人材定義や評価基準を踏まえたうえで、等級（グレード）や評価ごとにどのような課題が発生しているか、具体的な課題を特定します。

たとえば、自社の評価基準で優秀人材と定義されるA・B評価層に対し、「成長機会」や「評価制度への納得感」に関する不満が見られ、エンゲージメント低下や離職リスクの兆候が生じている、といったように、それぞれの評価基準に基づいた分析が可能です。

さらに、抽出された課題に対しては、「キャリア自律を目的とした1on1の実施」や「挑戦的な業務へのアサイン」など、具体的な改善アクションまで提示します。

これにより単なる示唆にとどまらず、人事による施策設計から現場マネージャーによる実行、経営層による意思決定まで、自社の制度や特性に基づいた一貫した判断とアクションを可能にします。

▼自社に最適化された課題分析と改善施策の提案

緊急度: 高 優先度: 高

人材流出の防止

回答(30件)を表示

優秀な人材が退職していく傾向が見られており、組織の競争力維持と成長を脅かす重大な課題です。現行の人材育成制度やキャリアパス制度が整備されている一方で、優秀人材の期待値と現実のギャップが生じている可能性があります。組織への信頼とエンゲージメントを維持するための緊急な対応が求められる状態です。

1. 傾向

自由記述回答から「優秀な人材が退職していく傾向がある」という指摘が挙げられています。これは単なる一時的な離職ではなく、組織内で認識される「優秀層」の流出が継続的に発生していることを示唆しています。特に、Grade 3以上の中核人材やハイパフォーマー層（評価A・B層）において、組織に対する期待と実態のギャップが顕在化している可能性があり、離職リスクの高まりが懸念されます。

2. 課題が発生した理由

組織には充実したキャリアパス制度（マネジメント系・スペシャリスト系の複線制）、成長志向の評価制度（Value評価とMBO評価の2軸）、および段階的な育成プログラムが存在します。しかし、これらの制度が実際の処遇や職場環境に十分に反映されていない、または優秀人材（キャリア成長、報酬、働き方の自由度など）を満たしていない可能性があります。特に、現在の役割における成長機会が見えにくい、評価と処遇の関係性に対する納得感が低い、個々のキャリア志向に応じた支援が不足しているといった点において、制度設計と現場運用の間にギャップが生じていることが課題と考えられます。

改善アクション

上司による育成と1on1の質の向上、および育成環境の整備

自由記述からは、「成長機会が得られていない」「キャリアの方向性が見えない」といった声が確認されており、優秀人材に対するキャリア支援が十分に機能していない可能性があります。

この背景には、現行の1on1や評価面談が業務進捗の確認にとどまり、中長期のキャリア志向や成長機会に関する対話が不足している点が考えられます。

そのため、優秀人材（Grade3以上・評価A/B層）に対しては、1on1の実施頻度を増やすこと自体を目的とするのではなく、キャリア開発に特化した対話機会として再設計します。

具体的には、本人のキャリア志向と現在の業務内容のギャップを明確化したうえで、挑戦的な業務やプロジェクトへのアサイン、役割の再設計など、成長実感につながる具体的な打ち手を実行します。

また、上司任せにせず、メンター制度や社内異動機会の可視化などを通じて、組織として優秀人材のキャリア形成を支援する仕組みを強化します。

2. 複雑な設定不要で、人事担当者自身ですぐに活用が可能

評価制度資料や等級定義書などの既存ドキュメントや社内ルールをアップロードするだけで、自社に特化したAIエージェントをすぐに活用できます。汎用的なAIで分析を行う場合、サーベイデータや従業員データを個別に抽出し、AIが扱える形式に加工する必要があり、大きな工数が発生します。また、担当者のITスキルやプロンプトによって、分析結果の品質にばらつきが生じるという課題もありました。

本機能はCTM2.0の「モチベーションサーベイ」に組み込まれており、アップロードした制度ドキュメントとサーベイデータを自動的に統合・解釈します。これにより、個別のデータ加工やプロンプト設計を行うことなく、自社の制度や運用実態を踏まえた分析が可能になります。その結果、人事担当者自身で設定から活用までを完結でき、個人のITスキルに依存せず、一定の品質で分析結果と改善施策を提示できます。

WHI HDは、統合人事システム「COMPANY®」シリーズの提供を通じて、はたらくすべての人が真価を発揮できる社会の実現に努めてまいります。

●「COMPANY® Talent Management」シリーズ（呼称：CTM2.0）について

国内大手法人の3社に1社※が利用する統合人事システム「COMPANY®」シリーズが提供する、日本法人固有の組織ニーズへ最適化したタレントマネジメントシステムです。人的資本経営に欠かせない人材の可視化、評価、育成、異動・配置、要員計画といったあらゆる機能を網羅しています。HR特化型生成AIの搭載と、現場の従業員から経営層までが迷わず操作できるUI/UXにより、はたらくすべての人が活用できる「COMPANY® Talent Management」シリーズとして、組織の意思決定と個人の成長を同時に加速させます。

※従業員数3,000人以上（株式会社Works Human Intelligence調べ）

「COMPANY® Talent Management」シリーズ製品サイト <https://www.ctm.works-hi.co.jp/>

●株式会社WHI Holdingsについて

WHI Holdingsは、「人に真価を。」をコーポレートブランドに掲げ、はたらくすべての人が真価を発揮できる社会の実現を目指しています。すべての人事領域を統合的に支援する「HCM Full Suite」構想を2020年より推進し、統合人事システム「COMPANY®」を中核としたサービスの開発、提供を行っています。

<https://www.whi-holdings.co.jp/>

* 会社名、製品名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

* 本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通し等に関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

* 製品画面上の氏名・名称等は架空のものであり、実在の人物・団体とは関係ありません（製品名等、一部の実在する固有名詞を除く）

■本件に関するお問い合わせ先

TEL：03-5575-5277 FAX：03-5575-5261

Email：corporate-pr@works-hi.co.jp

株式会社 Works Human Intelligence 広報（担当：徳元、角川）